

## 令和7年度民間ネット調査「水環境に関するアンケート」（令和7年7月実施）

### ○調査目的

大阪市では、2021年3月に大阪府と共同で策定した「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実行計画に基づき、あらゆるステークホルダーとの連携のもと、「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が掲げる「2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染ゼロ」の実現に寄与するとともに、2019年12月に新たに策定した「大阪市環境基本計画」の、水分野の個別計画としてSDGsの達成への貢献をめざしております。

そこで、市民のみなさまが大阪市の水環境に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているのか把握するため調査を実施しました。

### ○調査期間

令和7年7月28日から30日

### ○調査内容

- (1) 大阪市の水環境について
- (2) 水辺の施設・空間について
- (3) 海洋プラスチックごみ問題について
- (4) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

### ○回答構成

- (1) 有効回答数 500回答（100%）（調査対象500人）
- (2) 回答者属性

年代別	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	合計
調査対象数（人）	85	75	85	80	175	500
割合（%）	17.0	15.0	17.0	16.0	35.0	100.0

地域別	中心	西部	北部	東部	南部	合計
調査対象数（人）	123	70	68	117	122	500
割合（%）	24.6	14.0	13.6	23.4	24.4	100.0

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民500人

（令和6年度調査と同じ）

#### 【地域別】

中心ブロック：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

西部ブロック：此花区・港区・大正区・住之江区

北部ブロック：西淀川区・淀川区・東淀川区

東部ブロック：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

南部ブロック：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

※本調査結果についての留意事項

- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。
- ・自由記入設問の件数については母数を超える場合があります。

[参考]

(1) 令和6年度に実施した民間ネット調査

調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民  
500人

調査期間 : 令和6年7月26日から29日

調査内容 : (1) 大阪市の水環境について  
(2) 水辺の施設・空間について  
(3) 海洋プラスチックごみ問題について  
(4) まちなかや川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について

有効回答数 : 500回答(100%)

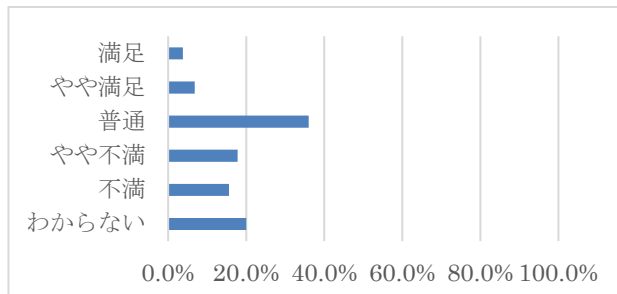
## ○結果概要

### Q 1. <水環境への満足度>

大阪市の水環境の状況に関する次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。あてはまるものを1つお選びください。

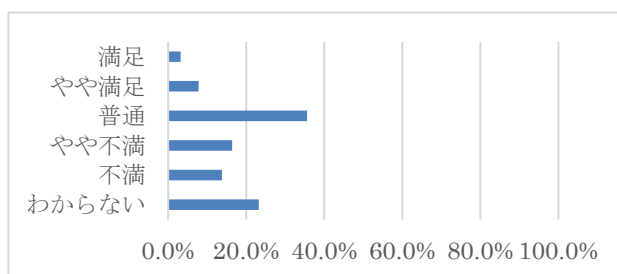
#### ①川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」（水質）

		回答数	比率
1	満足	19	3.8%
2	やや満足	34	6.8%
3	普通	180	36.0%
4	やや不満	89	17.8%
5	不満	78	15.6%
6	わからない	100	20.0%



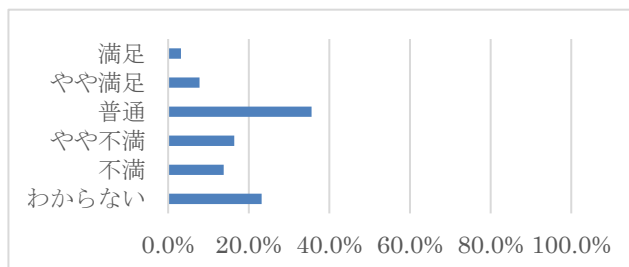
#### ②川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」（生物多様性）

		回答数	比率
1	満足	16	3.2%
2	やや満足	39	7.8%
3	普通	178	35.6%
4	やや不満	82	16.4%
5	不満	69	13.8%
6	わからない	116	23.2%



#### ③水辺空間（\*1）に対する「親しみやすさ」（ハード面での快適性）

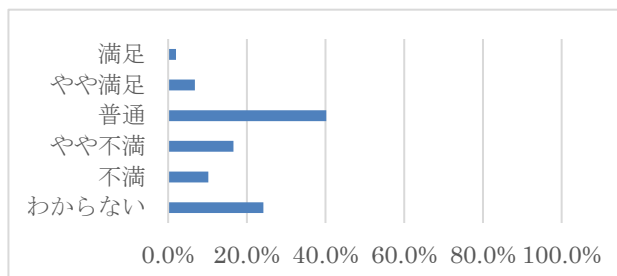
		回答数	比率
1	満足	10	2.0%
2	やや満足	40	8.0%
3	普通	186	37.2%
4	やや不満	97	19.4%
5	不満	61	12.2%
6	わからない	106	21.2%



（\*1）「水辺空間」とは川や海、干潟やワンド、野鳥園臨港緑地やシーサイドコスモなどの海辺の緑地、とんぼりリバーウォークなどの遊歩道、川の駅（船着き場）など

#### ④水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」（にぎわい）

		回答数	比率
1	満足	10	2.0%
2	やや満足	34	6.8%
3	普通	201	40.2%
4	やや不満	83	16.6%
5	不満	51	10.2%
6	わからない	121	24.2%

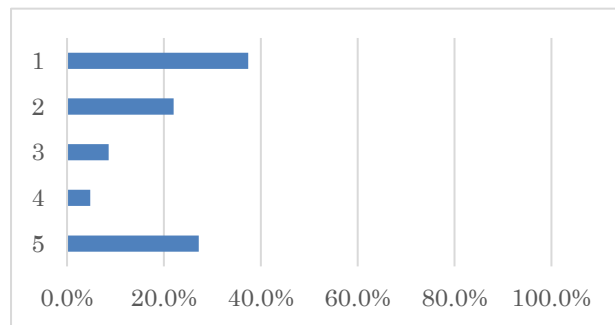


「満足」、「やや満足」と回答した方は全項目で約 10%であるが、「普通」と回答した方を加えると全項目で約 45%の結果となっている。一方で「やや不満」、「不満」と回答している方は全項目で 25%を超えている結果となった。昨年度結果と比較すると、「満足」、「やや満足」と回答した割合は全項目で減少していた。

Q 2. <水環境改善に向けた必要事項>

大阪の水環境をさらに改善していくために、あなたはどの項目が一番必要だと思いますか？あてはまるものを1つお選びください。

		回答数	比率
1	川や海の「水のきれいさ（見た目やにおいなど）」	187	37.4%
2	川や海などの水辺に生息する「鳥や魚、虫、草木などの生き物の豊かさ」	110	22.0%
3	水辺空間に対する「親しみやすさ」	43	8.6%
4	水辺空間で開催されるイベント等での「にぎわいの楽しさ」	24	4.8%
5	わからない	136	27.2%



約 37%の方が水質、約 22%の方が生物多様性が必要だと思っているとの結果であり昨年度結果から大きな変動は無かった。

Q 3. <水質改善に必要な事項>

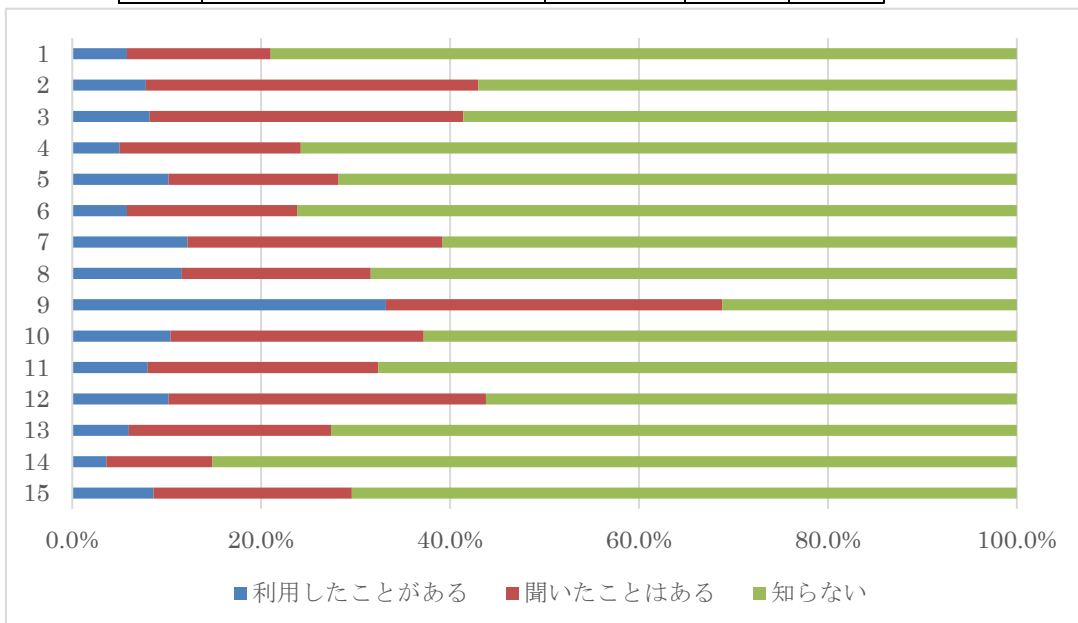
大阪の水環境の改善のためには、どのようなことが必要と考えていますか。ご自由にご記入ください。

主な意見として、「ごみを出さない・捨てない・不法投棄の罰則化」といったごみに関することについては 36 件、「意識改革・意識づけ」といった意識に関することについては 15 件、「植物や生物の保護」といった自然に関することについては 12 件、「水質の改善」といった水質に関することについては 10 件、「生活排水・工場排水の規制強化、管理、削減、排水処理施設の整備」といった排水に関することについては 9 件、その他は 33 件であった。一方で「なし・わからない・思いつかない」等は 81 件、無回答は 304 件であった。

Q4. <水辺施設を利用した市民の割合>

あなたは（最近5年間に）次の水辺の施設・空間を利用したことがありますか？また、ご存じですか？あてはまるものをすべてお選びください。

水辺施設を利用した市民の割合				
		利用したことがある	聞いたことはある	知らない
1	大阪ふれあいの水辺	5.8%	15.2%	79.0%
2	大阪南港釣り公園	7.8%	35.2%	57.0%
3	大阪北港マリーナ	8.2%	33.2%	58.6%
4	下水処理場のせせらぎ	5.0%	19.2%	75.8%
5	城北川遊歩道	10.2%	18.0%	71.8%
6	タグボート大正	5.8%	18.0%	76.2%
7	築港と天保山	12.2%	27.0%	60.8%
8	とんぼりリバーウォークと湊町リバープレイス	11.6%	20.0%	68.4%
9	中之島公園	33.2%	35.6%	31.2%
10	南港の海浜緑地	10.4%	26.8%	62.8%
11	船着き場	8.0%	24.4%	67.6%
12	大阪港や市内河川のクルーズ船	10.2%	33.6%	56.2%
13	舞洲の磯・緑道と大阪まいしまシーサイドパーク	6.0%	21.4%	72.6%
14	矢倉緑地公園	3.6%	11.2%	85.2%
15	淀川の干潟	8.6%	21.0%	70.4%



「中之島公園」については約 69%の方が聞いたことはある若しくは利用したことがあると回答しているが、それ以外の施設・空間については50%に満たない結果となっている。

### Q5. <水辺施設を利用した市民の割合>

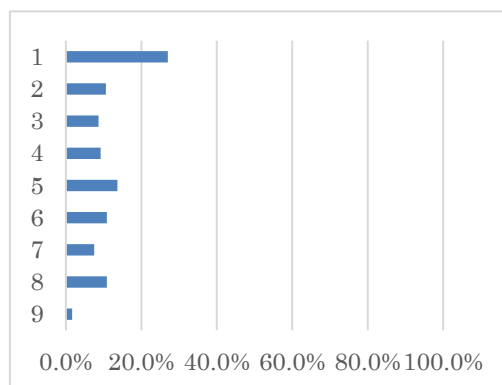
Q4で記載のない大阪市内の水辺の施設・空間を、最近5年間に利用したことがある場合は、その名称をご記入ください。

施設名称としては、神崎川ウォーキングロード、住之江公園、住吉公園、淀川河川敷サイクリングロード、咲洲運河、淀川、細江川といった回答があった。一方で「なし・わからない・思いつかない」等は113件、無回答は380件であった。

### Q6. <水辺の施設・空間の利用目的>

Q4もしくはQ5で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、どのような目的で利用しましたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない理由により水辺の施設・空間を利用した場合は、「その他」に利用した理由をご記入ください。

		回答数	比率
1	水辺の景色や雰囲気を楽しむため	97	27.0%
2	魚釣りを行うため	38	10.6%
3	水辺の生き物を観察するため	31	8.6%
4	水に触れるため	33	9.2%
5	水辺の近くにある店などを利用するため	49	13.6%
6	船に乗るため	39	10.9%
7	水辺で開催されるイベントに参加するため	27	7.5%
8	通勤や通学、散歩の通り道であるため	39	10.9%
9	その他（利用した理由をご記入ください）	6	1.7%

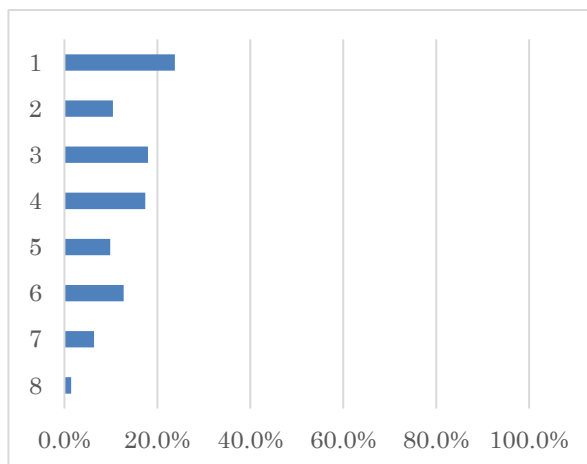


約27%の方が「水辺の景色や雰囲気を楽しむため」と回答しており、次に多かったのは「水辺の近くにある店などを利用するため」で約14%、次いで「通勤や通学、散歩の通り道であるため」、「船に乗るため」がそれぞれ約11%であった。昨年度結果と比較すると、「水に触れるため」が3.9%、「魚釣りを行うため」が4.4%増の結果であった。一方で「通勤や通学、散歩の通り道であるため」が11.5%、「水辺の景色や雰囲気を楽しむため」は8.6%減の結果であった。

#### Q 7. <水辺の施設・空間を利用した感想>

Q 4 もしくはQ 5 で回答いただいた、あなたが利用した水辺の施設・空間について、利用した感想はどうでしたか。以下の選択肢よりあてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない感想がある場合は、「その他」に感想をご記入ください。

		回答数	比率
1	水辺の景色と雰囲気を楽しむことができた	82	23.8%
2	川や海の良さを感じることができた	36	10.4%
3	きれいに整備・維持されていた	62	18.0%
4	もっとこのような施設を増やしてほしいと感じた	60	17.4%
5	あまり水辺の雰囲気を楽しむことができなかった	34	9.9%
6	あまり川や海の良さを感じることができなかった	44	12.8%
7	きれいに整備・維持されていないと感じた	22	6.4%
8	その他（感想をご記入ください）	5	1.4%



昨年度結果と同様「水辺の景色と雰囲気を楽しむことができた」や「きれいに整備・維持されていた」など肯定的な回答が「楽しむことができなかった」や「良さを感じることができなかった」といった否定的な回答を上回る結果であった。

#### Q 8. <希望の水辺の施設・空間>

大阪市には今後どのような水辺の施設・空間があればいいと考えていますか。ご自由にご記入ください。

「水に触れて遊べる場所、キャンプ場、釣り場」などが22件、「水際の風や涼しさが感じられる空間や休憩できる場所」が16件、「広場・公園・噴水」等が13件、「レストラン・カフェ」等が9件、「水族館など生き物がある空間」が7件、「クルーズ船・観覧船」が1件であった。その他は39件であった。一方で「何も必要ない・今のままで十分」といった回答は3件で、「なし・わからない・思いつかない」といった回答は126件、無回答が264件であった。

#### Q 9. <参加を希望する水辺空間を利用したイベント>

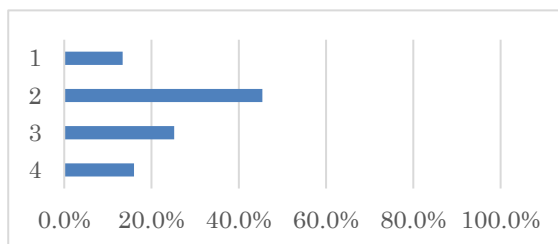
大阪市において、今後どのような「水辺空間を利用したイベント」を開催すれば、参加したいと思われますか。ご自由にご記入ください。

「スポーツ関係」が11件、「子どもが楽しめるイベント」等が6件、「水上ショー、水上パレード」等が6件、「涼しくなれるイベント」等が6件、「バーベキューや食事が楽しめるイベント」等が5件、「花火大会」等が3件、「お祭り」等が2件、「音楽イベント」等が3件、その他が40件であった。一方で「イベント不要・参加したくない・わからない・思いつかない」といった回答が144件、無回答が274件であった。

Q10. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

あなたは海洋プラスチックごみ問題について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

		回答数	比率
1	とても関心がある	67	13.4%
2	ある程度関心がある	227	45.4%
3	あまり関心がない	126	25.2%
4	全く関心がない	80	16.0%

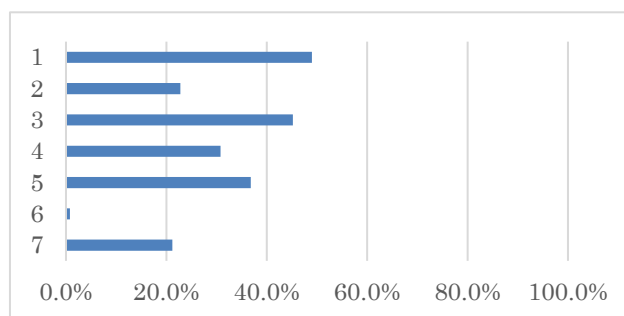


「とても関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方が約60%に上り、「あまり関心がない」、「全く関心がない」と回答した方を大きく上回る結果であった。昨年度結果から大きな変動は見られなかった。

Q11. <海洋プラスチックごみ問題について関心度>

海洋プラスチックごみについてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。

		回答数	比率
1	川や街でポイ捨てされたプラスチックごみが海に流出している	245	49.0%
2	海洋プラスチックごみが魚と同じ量にまで増加してしまう可能性がある	114	22.8%
3	海の生き物や鳥がプラスチックごみにより、傷ついたり死んだりしている	226	45.2%
4	一度海に流れ着いたごみの回収や処理は困難である	154	30.8%
5	小さなプラスチック（マイクロプラスチック）が問題となっている	184	36.8%
6	その他（ご存じの内容をご記入ください）	4	0.8%
7	わからない	106	21.2%

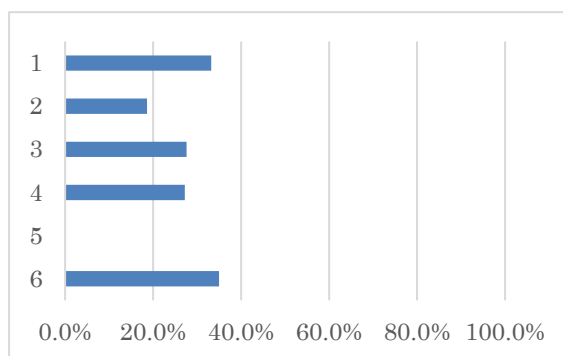


約50%の方が「ポイ捨てされたごみが海へ流出している」ことを知っており、約45%の方が「プラスチックごみにより生き物が傷ついている」ことを知っていた。しかし、昨年度結果と比較して「わからない」と回答した方の割合が18.8%増加していることから、海洋プラスチック問題についての関心度が高まっていないことが示唆される。

### Q12. <マイクロプラスチックが起こす問題の認知度>

「マイクロプラスチック」についてどのようなことを知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。なお、ここに記載のない内容がある場合は、「その他」にご記入ください。

		回答数	比率
1	5ミリメートル以下の小さなプラスチックである	166	33.2%
2	歯磨き粉などに含まれる研磨剤のように、小さい状態で工業生産されるものがある	93	18.6%
3	大きなプラスチックが紫外線や波などにより、細かく砕けて発生するものがある	138	27.6%
4	水環境中に存在する有害物質を吸着することにより、海の生き物や人体に害がおよぶことが懸念されている	136	27.2%
5	その他（ご存じの内容をご記入ください）	0	0.0%
6	わからない	175	35.0%

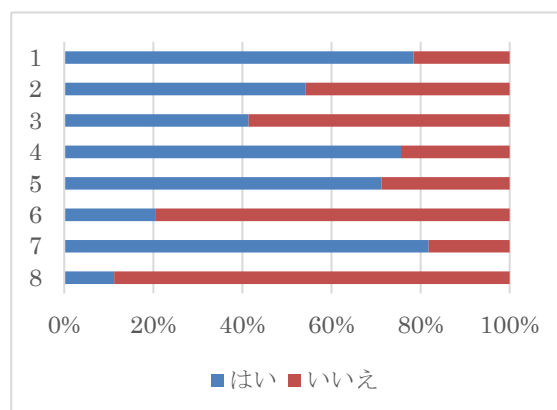


マイクロプラスチックの定義である5ミリメートル以下ということは約33%の方が知っており、その発生工程や生態系へ及ぼす影響については20~30%の方が知っていた。昨年度結果と比較して「わからない」と回答した方の割合は横ばいであり、さらなる認識を増やす取り組みが必要であると推察される。

### Q13. <プラスチックごみを削減するための行動>

あなたはプラスチックごみを削減するために次の行動をしていますか？「はい」「いいえ」のうち、よくとっている行動の方であてはまるものを1つお選びください。

		はい	いいえ
1	エコバックを持ち歩いている	78.4%	21.6%
2	マイボトルを持ち歩いている	54.2%	45.8%
3	ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない	41.4%	58.6%
4	詰め替え用品を購入している	75.6%	24.4%
5	容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している	71.2%	28.8%
6	地域や勤務先周辺などでの地域の清掃活動に参加している	20.4%	79.6%
7	プラスチックなどのごみのポイ捨てをしない	81.8%	18.2%
8	プラスチックごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している	11.2%	88.8%



約70~80%の方が「エコバックを持ち歩いている」、「詰め替え用品を購入している」、「容器包装プラスチックやペットボトルをきちんと分別して廃棄している」「ポイ捨てをしない」と回答していた。一方、「マイボトルを持ち歩いている」、「ワンウェイのプラスチック（ストローやスプーンなど）をできるだけ使用しない」と回答した方は約40~55%であり「清掃活動に参加している」と回答した方は約20%、「ごみ削減に係るイベント、研修や学習会に参加している」と回答した方は約11%であった。1~8を合計した行動している市民の割合は54%であり約半数以上の方はプラスチックごみ削減について行動していた。

Q14. <プラスチックごみを削減するための行動>

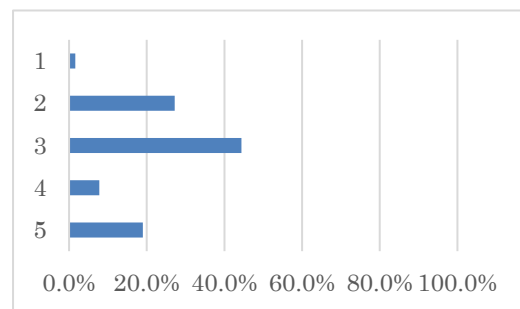
Q13 で記載のないプラスチックごみを削減するための行動をしている場合は、その行動内容をご自由にご記入ください。

「使わない・買わない・購入しない」等が5件、「紙製品など代替品の利用」等が2件、その他が4件であった。一方で「なし・わからない・思いつかない」といった回答が94件、無回答が395件であった。

Q15. <まちなかでのプラスチックごみの状況>

路上や公園などまちなかでのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを1つお選びください。

		回答数	比率
1	プラスチックごみは全く見当たらない	8	1.6%
2	プラスチックごみはほとんど見当たらない	136	27.2%
3	プラスチックごみをよく見かける	222	44.4%
4	プラスチックごみをたくさん見かける	39	7.8%
5	わからない	95	19.0%

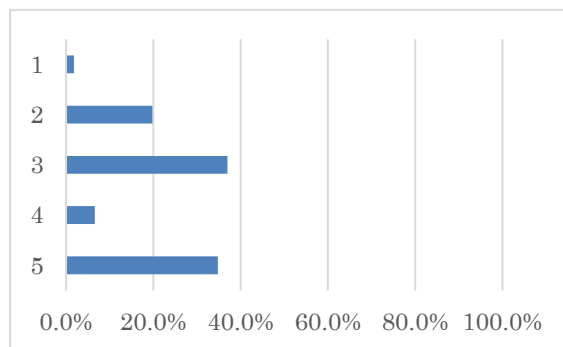


「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約52%であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を上回る結果であった。昨年度結果と比較すると「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方は約3%増であるため一層のまちの美化に向けて着実に前進していると推察される。

Q16. <川や大阪湾でのプラスチックごみの状況>

大阪市内の川や大阪湾でのプラスチックごみの状況について、あてはまるものを1つお選びください。

		回答数	比率
1	プラスチックごみは全く見当たらない	9	1.8%
2	プラスチックごみはほとんど見当たらない	99	19.8%
3	プラスチックごみをよく見かける	185	37.0%
4	プラスチックごみをたくさん見かける	33	6.6%
5	わからない	174	34.8%



「プラスチックごみをよく見かける」、「プラスチックごみをたくさん見かける」と回答した方が約44%であり、「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方を大きく上回る結果であった。昨年度結果と

比較すると「プラスチックごみは全く見当たらない」、「プラスチックごみはほとんど見当たらない」と回答した方は約5%増加していたため、川や海の美化に向けて着実に前進していると推察される。

Q17. <プラスチックごみを減らすためにすべきこと>

プラスチックごみを減らすため、どうしたらよいと思いますか。ご自由にご記入ください。

「個人意識の向上・個人の自覚・モラルの向上・マナーの向上」といった意見が31件、「ゴミ箱の設置」等が14件、「分別の徹底」等が6件、「罰則の強化・罰金」等が8件、「監視カメラの設置」等が2件、「啓発活動・学校教育」等が8件、「使用しない・使用を減らす・使用の制限」等が26件、その他が19件であった。一方で「なし・わからない」といった回答が56件、無回答が330件であった。